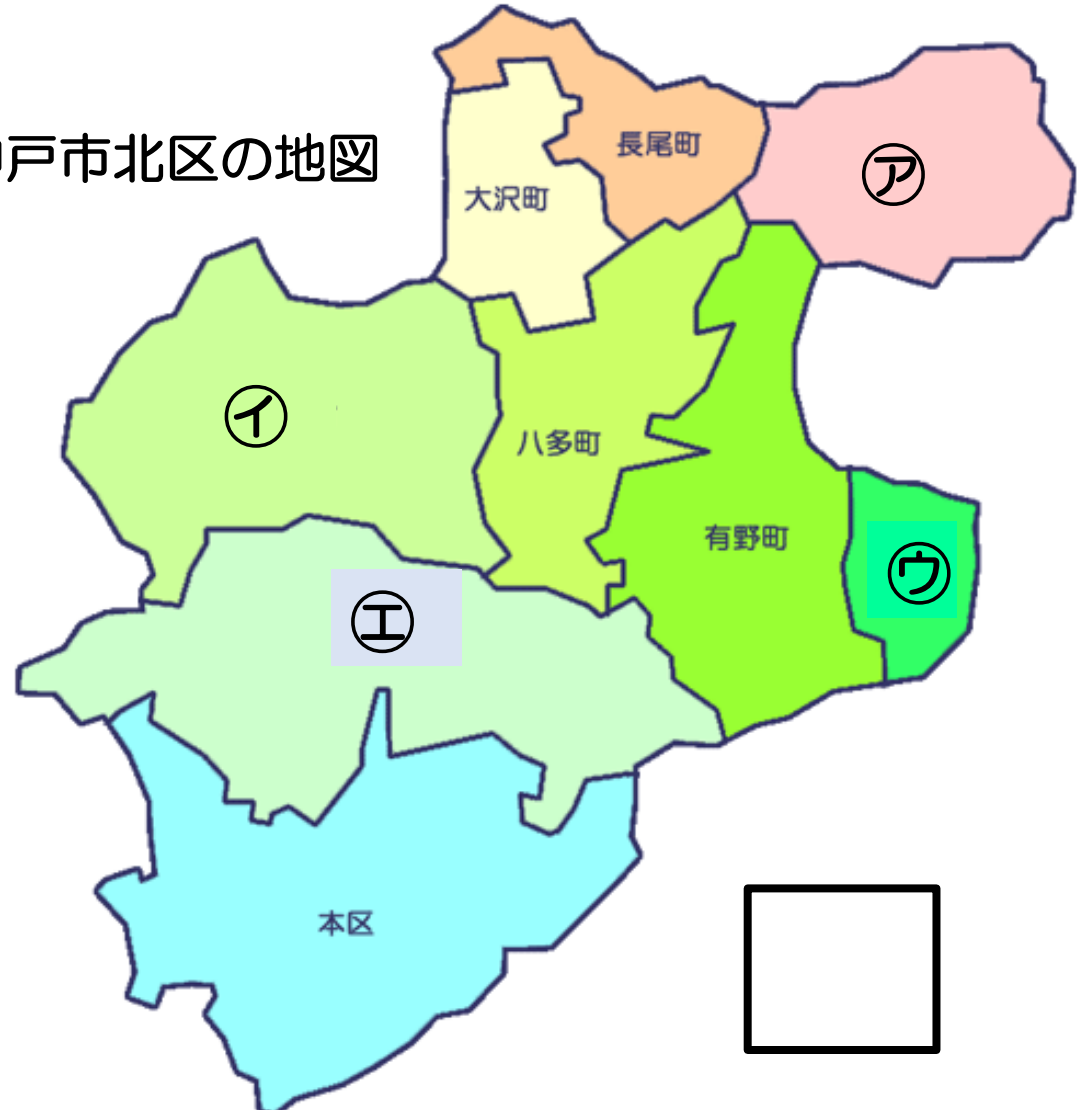


①タンタンが大好きな竹の産地・神戸市北区淡河(おうご)町を、地図の㊶ー㊷から選び、記号で答えましょう

神戸市北区の地図



タンタンの 20ねん 日日的廿年



No.37

㊶王子動物園内で育てているタケノコ
㊷園内で取れたタケノコを食べるタンタン(いずれも神戸市立王子動物園(同園公式ツイッターより))



「ちやうれしかったなあ」と思っています。

今年も4月に入り、春の2種がと頭を出し始めた。

特に初物のタケノコには目がないタンタン。右手でつかみ、器用に皮をむいて

飼育員が「 」と聞いてみると、急に知らんぷりが始まる。「グルメ」なタンタンが気分や季節で味の好みが変わるのはいつものことだ。

「今日はあかんなどと思ったら、次はちよっと細いのにしてみる。それで食べてくれたら気持ちを通じたよううれしい」と吉田さん。タケノコが終われば、次は竹の若葉の季節がやってくる。これも好物の一つ。タンタンの好みを模索する日々は続く。(谷川直生)

タンタンの好物は言うまでもなく新鮮な竹だ。神戸市北区淡河町産の竹が、タンタンの胃袋をつかんで離さない至極の逸品であることは、タンタンのファンなら誰でも知っている。

では、こちらはどうだろう。王子動物園の中にも、タンタンのための「竹林」がそこかしこに広がっていることを。

ジャイアントパンダは春先に発情期を迎え、食欲が旺盛になる。タンタンが「地産地消」するための園内栽培は、その時期に食べ頃を迎えるネマガリダケとホテイチクが計6カ所ある。秋が旬のシホウチクも1カ所ある。

ホテイチクはいつ植えられたか不明だが、ネマガリダケとシホウチクは4、5年ほど前に今の担当



飼育員が苗を植えたそう。以来、雑草の処理や間引きなどの手入れを欠かさない。




飼育員の吉田憲一さん(54)は「初めて食べてくれたときはめっ

マイ竹林

好物のタケノコ園内栽培

②    に入る言葉を㊦ー㊦から選び、記号で答えましょう

㊦むしゃむしゃ ㊦ぐんぐん ㊦やれやれ ㊦ぽこぽこ ㊦よしよし

	=	<input type="text"/>
	=	<input type="text"/>
	=	<input type="text"/>

③写真のタンタンは何を思っているでしょう。
想像してせりふを書きましょう

